

宮城県感染症発生動向調査情報

- 2017.7.3～2017.7.9 - 第27週 -

平成29年7月13日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼				第22週	第23週	第24週	第25週
水痘		4 0.40	4 0.80		2 0.67	4 0.80	1 0.50	18 0.67	33 0.56	674	○	○	○	○
流行性耳下腺炎		12 1.20			1 0.33	1 0.20		7 0.26	21 0.36	326				
百日咳									2 0.03	8				
感染性胃腸炎	62 12.40	45 4.50	11 2.20	22 11.00	11 3.67	10 2.00		238 8.81	399 6.76	8,473	◎	◎	◎	◎
手足口病	9 1.8	2 0.2	43 8.60	4 2.00		3 0.60	2 1.00	66 2.44	129 2.19	347	レ	○	○	◎
伝染性紅斑	5 1						1 0.50	2 0.07	8 0.14	102				
突発性発しん	3 0.60	8 0.80	7 1.40	1 0.50	3 1.00	3 0.60	3 1.50	25 0.93	53 0.90	906	レ	○	○	◎
ヘルパンギーナ	1 0.2	6 0.6	6 1.20		1 0.33			7 0.26	21 0.36	82				
インフルエンザ						4 0.50		2 0.05	6 0.06	27,047	○	レ		
咽頭結膜熱	2 0.40	25 2.50	3 0.60	2 1.00		5 1.00		55 2.04	92 1.56	1,044	◎	◎	◎	◎
流行性角結膜炎		3 1.00				1 1.00		2 0.33	6 0.50	71				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	89 8.90	21 4.20	2 1.00	4 1.33	31 6.20	5 2.50	41 1.52	208 3.53	4,751	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎							2 2.00	3 0.60	5 0.42	133				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	14 2.80	8 0.80			1 0.33	3 0.60		30 1.11	56 0.95	420		○	○	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	5	3	4	1		1	4						
	川崎病													
	不明発疹症							5						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名
塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性6名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O121)

塩釜管内 男性1名、女性1名、男児1名*

腸管出血性大腸菌感染症(O157)

塩釜管内 女性1名
仙南管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O26)

栗原管内 女性1名、男児1名**
登米管内 男性1名、女性1名、女児1名**

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名(第26週)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*Klebsiella pneumoniae*)
仙台管内 男性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 女性1名(第26週)、男性1名
※男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

塩釜管内のO121関連 第26週採取分 O121 3件
塩釜管内のO157関連 第27週採取分 O157 1件
登米管内のO26関連 第26週採取分 O26 3件
栗原管内のO26関連 第27週採取分 O26 1件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第26週採取分 サボウイルス 1件
アデノウイルス41型 1件
第27週採取分 アデノウイルス41型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		中 間 報 告	
	第24週採取分 (6.12～6.18)	第25週採取分 (6.19～6.25)	第26週採取分 (6.26～7.2)	
RSウイルス	1件	1件	1件	
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	0件	
アデノウイルス	7件	1件	5件	
サイトメガロウイルス	1件	0件	1件	
パラインフルエンザウイルス(3型)	14件	9件	7件	

* 第19週より継続してパラインフルエンザウイルス(3型)が分離され、分離数が多い状態です。
** 第20週より継続してアデノウイルスが分離されています。

4. 今週のコメント

【カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(GRE)感染症】

グラム陰性桿菌による感染症治療において最も重要な抗菌薬であるカルバペネム系抗菌薬及びβ-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症です。今週、仙台管内で1例の報告がありました。GREは国内の患者から広く検出されており、院内感染でも問題となることから医療機関では特に注意が必要です。

【アデノウイルスによる感染症】

アデノウイルスは、咽頭結膜熱や流行性角結膜炎などの原因となるウイルスで、通年発生しますが、特に夏季を中心に流行がみられます。仙台医療センターウイルスセンターでは第20週より継続的にアデノウイルスが分離されており、保健環境センターでも感染性胃腸炎患者からアデノウイルス遺伝子が検出されています。今後の流行に注意するとともに、うがい・手洗い等の感染予防に留意してください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【感染性胃腸炎】

仙南管内で警報継続中

【手足口病】

大崎管内で警報継続中

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

塩釜、石巻管内で警報継続中

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

